

学校コード F112110102337

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

認可

注2

千葉大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人千葉大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画政策課

職名・氏名

センモンシヨクインタクワキ ケンイチ
専門職員・高脇 健一

電話番号

043-290-2141

（夜間）

043-290-2141

e-mail

kikaku-soshiki@office.chiba-u.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

看護学研究科

＜看護学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人千葉大学

(2) 大学名

千葉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒260-8672 (〒263-8522)

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 (千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(トクヒサ タケシ) 徳久 剛史 (平成26年4月1日)	(ナカヤマ トシノリ) 中山 俊憲 (令和3年4月1日)	任期満了のため 令和3年4月1日 (3)
研究科長	(ナカムラ ノブエ) 中村 伸枝 (平成29年4月1日)	(スワ サユリ) 諏訪 さゆり (令和3年4月1日)	任期満了のため 令和3年4月1日 (3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学研究科 看護学専攻 （博士後期課程） 博士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	3 年	15 人	— 人	45 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	15	—	15	—	15	—	15	—	15	—	1.06倍	-1倍	
志願者数	25	—	20	—	25	—	20	—	25	—			
受験者数	25	—	20	—	25	—	20	—	25	—			
合格者数	16	—	16	—	16	—	16	—	16	—			
B 入学者数	16	—	16	—	16	—	16	—	16	—			
入学定員超過率 B/A	1.06		1.06		1.06		1.06		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[/] ()	16 [2] (-)	- [-] (-)	16 [-] (-)	- [-] (-)						
2 年次			[/] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	16 [2] (-)	- [-] (-)				
3 年次					[/] ()	[/] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	[/] ()	16 [2] (-)		32 [2] (-)							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [/]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	/	/	平成30年度	/	/	
令和元年度	/	/	平成30年度	/	/	
			令和元年度	/	/	
令和2年度	/	/	平成30年度	/	/	
			令和元年度	/	/	
			令和2年度	/	/	
令和3年度	16人	0人	平成30年度	/	/	
			令和元年度	/	/	
			令和2年度	/	/	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	32人	0人	平成30年度	/	/	
			令和元年度	/	/	
			令和2年度	/	/	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤科目	学際研究Ⅰ（導入）	1	1			3			1			
	看護革新力の展開	1	1			2	1		1			
	Academic Writing	1	1			1			1			
	学際研究Ⅱ（発展）	1～3		1		3			1			
	看護イノベーション特論	1～2		1		3	1		2			
	グローバル演習	1～2		1		2	1	1				
	Systematic Review	1～2		1		2	2	1				
	小計(7科目)	-	3	4	0	9	5	2	5	0	0	0
専門科目	先端実践看護学特論	1	2			5	3	1	6			
	生活創成看護学特論	1	2			7						
	文化創成看護学特論	1	2			5	4	1	2			
	小計(3科目)	-	6	0	0	17	7	2	8	0	0	0
コンソーシアム科目	災害マネジメント論	1～3			1	1	2					
	災害時専門職連携演習	1～3			2	1	1	1				
	災害看護活動論(復旧・復興)	1～3			1	1	2					
	小計(3科目)	-	0	0	4	2	3	1	0	0	0	0
特別演習	特別演習	1	2			17	11					
	小計(1科目)	-	2	0	0	17	11	0	0	0	0	0
特別研究	特別研究	2～3	5			17	11					
	小計(1科目)	-	5	0	0	17	11	0	0	0	0	0
国際プログラム	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry	1		2		1						
	Interdisciplinary Research Seminar	1		2		2						
	Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology	1		2		1						
	Doctoral Seminar in Adult Nursing	1		2		3						
	Doctoral Seminar in Gerontological Nursing	1		2		3						
	Doctoral Seminar in Community Health Nursing	1		2		1						
	Doctoral Seminar in Visiting Nursing	1		2		1						
	Doctoral Seminar in Nursing Administration	1		2		1						
	Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology	1		2		1						
	Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing	1		2		3						
	Doctoral Practicum in Community Health Nursing	1		2		1						
	Doctoral Practicum in Visiting Nursing	1		2		1						
	Doctoral Practicum in Nursing Administration	1		2		1						

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤科目	学際研究Ⅰ（導入）	1	1			2			1			
	看護革新力の展開	1	1			2	1		1			
	Academic Writing	1	1			1			1			
	学際研究Ⅱ（発展）	1～3		1		2			1			
	看護イノベーション特論	1～2		1		3	1		1			
	グローバル演習	1～2		2		1	0	1				
	Systematic Review	1～2		1		2	1	1				
	小計(7科目)	-	3	5	0	8	3	2	4	0	0	0
専門科目	先端実践看護学特論	1	2			5	3	1	5			
	生活創成看護学特論	1	2			9	1		2			
	文化創成看護学特論	1	2			3	4	1	3			
	小計(3科目)	-	6	0	0	17	7	2	7	0	0	0
コンソーシアム科目	災害マネジメント論	1～3			1	1	2					
	災害時専門職連携演習	1～3			2	1	1	1				
	災害看護活動論(復旧・復興)	1～3			1	1	2					
	小計(3科目)	-	0	0	4	2	3	1	0	0	0	0
特別演習	特別演習	1	2			17	8					
	小計(1科目)	-	2	0	0	17	8	0	0	0	0	0
特別研究	特別研究	2～3	5			17	8					
	小計(1科目)	-	5	0	0	17	8	0	0	0	0	0
国際プログラム	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry (未開講)	1		2		1						
	Interdisciplinary Research Seminar (未開講)	1		2		2						
	Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology (未開講)	1		2		1						
	Doctoral Seminar in Adult Nursing (未開講)	1		2		3						
	Doctoral Seminar in Gerontological Nursing (未開講)	1		2		3						
	Doctoral Seminar in Community Health Nursing (未開講)	1		2		1						
	Doctoral Seminar in Visiting Nursing (未開講)	1		2		1						
	Doctoral Seminar in Nursing Administration (未開講)	1		2		1						
	Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology (未開講)	1		2		1						
	Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing (未開講)	1		2		3						
	Doctoral Practicum in Community Health Nursing (未開講)	1		2		1						
	Doctoral Practicum in Visiting Nursing (未開講)	1		2		1						
	Doctoral Practicum in Nursing Administration (未開講)	1		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際プログラム	Dissertation in Nursing Pathobiology	2~3	6			1						
	Dissertation in Adult & Gerontological Nursing	2~3	6			3						
	Dissertation in Community Health Nursing	2~3	6			1						
	Dissertation in Visiting Nursing	2~3	6			1						
	Dissertation in Nursing Administration	2~3	6			1						
小計(18科目)		-	30	26	0	10	0	0	0	0	0	0
合計(33科目)		-	46	30	4	17	11	4	11	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程における履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は下記のとおりで、さらに博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>1) 共通基盤科目3単位を必修科目として履修する。</p> <p>2) 専門科目のうち、主専攻の特論のいずれか2単位を必修科目として履修する。</p> <p>3) 特別演習2単位を必修科目として履修する。</p> <p>4) 特別研究5単位を必修科目として履修する。</p> <p>5) 災害看護副専攻プログラム</p> <p>災害・広域看護学領域での博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了証に博士号(看護学)Disaster Nursing Global Leaderを付記する。また、他領域で博士前期・後期課程を学修すると共にコンソーシアム科目を10単位以上履修した学生には、災害看護学副専攻プログラム認定証を発行する。</p> <p>6) 国際プログラム</p> <p>博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1)看護病態学、成人・老年看護学、地域看護学、訪問看護学、管理看護学の中から、主専攻を選ぶ。2)主専攻の「特論」(2単位)を必修科目として履修する。3)主専攻の「特別演習」(2単位)及び「特別研究」(6単位)を必修科目として履修する。4)「選択」科目から2単位を履修する。</p> <p>※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際プログラム	Dissertation in Nursing Pathobiology(未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Adult & Gerontological Nursing(未開講)	2~3	6			3						
	Dissertation in Community Health Nursing(未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Visiting Nursing(未開講)	2~3	6			1						
	Dissertation in Nursing Administration(未開講)	2~3	6			1						
小計(18科目)		-	30	26	0	10	0	0	0	0	0	0
合計(33科目)		-	46	31	4	17	8	5	13	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程における履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は下記のとおりで、さらに博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>1) 共通基盤科目3単位を必修科目として履修する。</p> <p>2) 専門科目のうち、主専攻の特論のいずれか2単位を必修科目として履修する。</p> <p>3) 特別演習2単位を必修科目として履修する。</p> <p>4) 特別研究5単位を必修科目として履修する。</p> <p>5) 災害看護副専攻プログラム</p> <p>災害・広域看護学領域での博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了証に博士号(看護学)Disaster Nursing Global Leaderを付記する。また、他領域で博士前期・後期課程を学修すると共にコンソーシアム科目を10単位以上履修した学生には、災害看護学副専攻プログラム認定証を発行する。</p> <p>6) 国際プログラム</p> <p>博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1)先端実践看護学、生活創成看護学、文化創成看護学の中から、主専攻を選ぶ。2)主専攻の「特論」(2単位)を必修科目として履修する。3)主専攻の「特別演習」(2単位)及び「特別研究」(6単位)を必修科目として履修する。4)「選択」科目から2単位を履修する。</p> <p>※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。</p>												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤科目	学際研究Ⅰ(導入)	1	1			3				1		
	看護革新力の展開	1	1			2	1			1		
	Academic Writing	1	1			1				1		
	学際研究Ⅱ(発展)	1~3		1		3				1		
	看護イノベーション特論	1~2		1		3	1			1		
	グローバル演習	1~2		2		2	0	1				
	Systematic Review	1~2		1		2	1	1				
小計(7科目)	-	3	5	0	9	3	2	4	0	0		
専門科目	先端実践看護学特論	1	2			5	3	1		5		
	生活創成看護学特論	1	2			9	1			2		
	文化創成看護学特論	1	2			5	4	1		3		
	小計(3科目)	-	6	0	0	19	7	2	7	0	0	
コンソーシアム科目	災害マネジメント論	1~3			1	1	2					
	災害時専門職連携演習	1~3			2	1	1	1				
	災害看護活動論(復旧・復興)	1~3			1	1	2					
	小計(3科目)	-	0	0	4	2	3	1	0	0	0	
特別演習	特別演習	1	2			19	9					
	小計(1科目)	-	2	0	0	19	9	0	0	0	0	
特別研究	特別研究	2~3	5			19	9					
	小計(1科目)	-	5	0	0	19	9	0	0	0	0	
国際プログラム	E l e c t i v e	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry	1		2		1					
		Interdisciplinary Research Seminar	1		2		2					
	S e m i n a r	Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Adult Nursing	1		2		3					
		Doctoral Seminar in Gerontological Nursing	1		2		3					
		Doctoral Seminar in Community Health Nursing	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Visiting Nursing	1		2		1					
		Doctoral Seminar in Nursing Administration	1		2		1					
	P r a c t i c a l	Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing	1		2		3					
		Doctoral Practicum in Community Health Nursing	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Visiting Nursing	1		2		1					
		Doctoral Practicum in Nursing Administration	1		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
国際 ブ ラ ム	Dissertation in Nursing Pathobiology	2~3	6			1					
	Dissertation in Adult & Gerontological Nursing	2~3	6			3					
	Dissertation in Community Health Nursing	2~3	6			1					
	Dissertation in Visiting Nursing	2~3	6			1					
	Dissertation in Nursing Administration	2~3	6			1					
	小計(18科目)	-	30	26	0	10	0	0	0	0	0
合計(33科目)		-	46	31	4	19	9	5	13	0	0
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程における履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は下記のとおりで、さらに博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>1) 共通基盤科目3単位を必修科目として履修する。 2) 専門科目のうち、主専攻の特論のいずれか2単位を必修科目として履修する。 3) 特別演習2単位を必修科目として履修する。 4) 特別研究5単位を必修科目として履修する。 5) 災害看護副専攻プログラム 災害・広域看護学領域での博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了証に博士号(看護学) Disaster Nursing Global Leaderを付記する。また、他領域で博士前期・後期課程を学修すると共にコンソーシアム科目を10単位以上履修した学生には、災害看護学副専攻プログラム認定証を発行する。 6) 国際プログラム 博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1) 看護病態学、成人・老年看護学、地域看護学、訪問看護学、管理看護学の中から、主専攻を選ぶ。2) 主専攻の「特論」(2単位)を必修科目として履修する。3) 主専攻の「特別演習」(2単位)及び「特別研究」(6単位)を必修科目として履修する。4) 「選択」科目から2単位を履修する。</p> <p>※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・担当教員の退職に伴い、「看護イノベーション特論」の専任教員の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「グローバル演習」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・単位数を授業時間に見合うものとするため、「グローバル演習」の単位数を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「Systematic Review」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「先端実践看護学特論」の専任教員の配置を「助教6」から「助教5」に変更。
- ・担当教員の採用・昇任に伴い、「生活創成看護学特論」の専任教員の配置を「教授7・准教授0・助教0」から「教授9・准教授1・助教2」に変更。
- ・担当教員の採用に伴い、「文化創成看護学特論」の専任教員の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の採用・昇任・退職に伴い、「特別演習」の専任教員の配置を「教授17・准教授11」から「教授19・准教授9」に変更。
- ・担当教員の採用・昇任・退職に伴い、「特別研究」の専任教員の配置を「教授17・准教授11」から「教授19・准教授9」に変更。

【令和4年度】

- ・担当教員の退職に伴い、「学際研究Ⅰ（導入）」の専任教員の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「学際研究Ⅱ（発展）」の専任教員の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「グローバル演習」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「文化創成看護学特論」の専任教員の配置を「教授5」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「特別演習」の専任教員の配置を「教授19・准教授9」から「教授17・准教授8」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「特別研究」の専任教員の配置を「教授19・准教授9」から「教授17・准教授8」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	17 科目	3 科目	33 科目	13 科目 [0]	17 科目 [0]	3 科目 [0]	33 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						
4						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{33} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 舎 敷 地	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場用地への校舎新 設等のため (3)		
	校 舎 敷 地	505,089㎡ 512,581㎡ 507,626㎡		㎡	㎡		505,089㎡ 512,581㎡ 507,626㎡	
	運動場用地	78,438㎡ 88,021㎡		㎡	㎡		78,438㎡ 88,021㎡	
	小 計	583,527㎡ 591,019㎡ 595,647㎡		㎡	㎡		583,527㎡ 591,019㎡ 595,647㎡	
	そ の 他	680,040㎡ 667,641㎡ 663,013㎡		㎡	㎡		680,040㎡ 667,641㎡ 663,013㎡	
	合 計	1,263,567㎡ 1,258,660㎡		㎡	㎡		1,263,567㎡ 1,258,660㎡	
	(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		校舎新設及び解体 (未 壊) のため (4)	
	313,361 ㎡ 344,498 ㎡ (313,361 ㎡) (-303,671 ㎡)		㎡	㎡	313,361 ㎡ 344,498 ㎡ (313,361 ㎡) (-303,671 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	202室	216室	63室	11室 (補助職員 2人)	2室 (補助職員 2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)			48 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体
		[うち外国書]	[うち外国書]					
		冊	種	種	点	点	点	
		看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程	1,267,003 [458,950] 1,288,385 [466,295] 1,324,239 [491,586] (1,267,003 [458,950]) (1,288,385 [466,295]) (1,324,239 [491,586])	25,529 [9,819] 25,495 [9,803] 25,490 [9,862] (25,529 [9,819]) (25,495 [9,803]) (25,490 [9,862])	21,103 [19,330] 20,087 [18,277] 19,642 [17,921] (21,103 [19,330]) (20,087 [18,277]) (19,642 [17,921])	5,459 5,445 5,391 (5,459) (5,445) (5,391)	12,675 11,218 (12,675) (11,218)	
計	1,267,003 [458,950] 1,288,385 [466,295] 1,324,239 [491,586] (1,267,003 [458,950]) (1,288,385 [466,295]) (1,324,239 [491,586])	25,529 [9,819] 25,495 [9,803] 25,490 [9,862] (25,529 [9,819]) (25,495 [9,803]) (25,490 [9,862])	21,103 [19,330] 20,087 [18,277] 19,642 [17,921] (21,103 [19,330]) (20,087 [18,277]) (19,642 [17,921])	5,459 5,445 5,391 (5,459) (5,445) (5,391)	12,675 11,218 (12,675) (11,218)	135 (135)		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		一部改修のため (3)		
	20,731㎡ 20,779㎡		2,052席 2,028席	1,523,333 1,502,982				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	5,018㎡		サッカー場、野球場、テニスコート、武道場、弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	千葉大学					学生募集停止学科数	29	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
【学部】											
国際教養学部											
国際教養学科	4	90	-	360	学士(国際教養学)	1.06	1.03	-	平成28	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
文学部											
人文学科	4	170	3年次10	700	学士(文学)	1.03	1.03	-	平成28	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
行動科学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和56	同上	平成28年度より学生募集停止
史学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和56	同上	同上
日本文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	平成6	同上	同上
国際言語文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	平成6	同上	同上
法政経学部											
法政経学科	4	370	-	1480	学士(法学、経済学、政治学、政策学)	1.00	1.01	-	平成26	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
法経学部											
経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	昭和56	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学部											
学校教員養成課程	4	390	-	1560	学士(教育学)	1.00	1.01	令和元	令和元	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
小学校教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	昭和25	同上	令和元年度より学生募集停止
中学校教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	昭和40	同上	同上
特別支援教育教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成20	同上	同上
幼稚園教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	昭和43	同上	同上
養護教諭養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	昭和51	同上	同上
理学部											
数学・情報数理学科	4	200	-	800	-	1.03	1.04	-	-	-	
物理学科	4	44	-	176	学士(理学)	1.00	1.00	-	平成6	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
物理学科	4	39	-	156	学士(理学)	1.02	1.02	-	昭和43	同上	
化学科	4	39	-	156	学士(理学)	1.10	1.07	-	昭和43	同上	
生物学科	4	39	-	156	学士(理学)	1.04	1.07	-	昭和43	同上	
地球科学科	4	39	-	156	学士(理学)	1.01	1.02	-	平成6	同上	

工学部											
総合工学科	4	620	3年次 60	2,600	学士 (工学)	1.01	1.00	-	平成29	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
都市環境システム学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成29年度より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	同上
デザイン学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	同上
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	同上
メディカルシステム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	同上
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	同上
ナノサイエンス学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	同上
画像科学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	同上
情報画像学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	同上
園芸学部											
園芸学科	4	190	-	760	-	1.04	1.03	-			
園芸学科	4	64	-	256	学士 (農学)	1.04	1.03	-	平成19	千葉県松戸市松戸648番地	
応用生命化学科	4	31	-	124	学士 (農学)	1.02	1.03	-	平成19	同上	
緑地環境学科	4	66	-	264	学士 (農学)	1.05	1.04	-	平成19	同上	
食料資源経済学科	4	29	-	116	学士 (農学)	1.06	1.03	-	平成19	同上	
医学部											
医学科	6	117	-	707	学士 (医学)	1.01	1.03	令和4	昭和24	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号	令和2年度より3年次編入学生募集停止(△5)17名は令和4年度までの措置
薬学部											
薬学科	6	50	-	280	学士 (薬学)	1.04	1.06	-	平成18	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号	2学科一括募集令和元年度入学生定員増(10)
薬科学科	4	40	-	160	学士 (薬科学)			-	平成18	同上	
看護学部											
看護学科	4	80	-	330	学士 (看護学)	1.02	1.05	-	昭和50	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号	令和4年度より3年次編入学生募集停止(△10)
大学全体	-	2,317	70	9,737	-	-	-	-	-	-	

工学研究科〔博士後期〕													
建築・都市科学専攻	3	-	-	-	博士 (学術) (工学)	-	-	-	平成19	同上	千葉県松戸市松戸648番地	平成29年度より 学生募集停止	
デザイン科学専攻	3	-	-	-	博士 (学術) (工学)	-	-	-	平成19	同上		同上	
人工システム科学専攻	3	-	-	-	博士 (学術) (工学)	-	-	-	平成19	同上		同上	
共生応用化学専攻	3	-	-	-	博士 (学術) (工学)	-	-	-	平成19	同上		同上	
園芸学研究科〔博士前期〕													
環境園芸学専攻	2	105	-	210	修士 (学術) (農学) (ランドスケープ学)	0.97	0.95	-	平成19	千葉県松戸市松戸648番地			
園芸学研究科〔博士後期〕													
環境園芸学専攻	3	18	-	54	修士 (学術) (農学) (ランドスケープ学)	0.96	0.50	-	平成19	同上			
融合科学研究科〔博士後期〕													
情報科学専攻	3	-	-	-	博士 (学術) (工学)	-	-	-	平成19	同上		平成29年度より 学生募集停止	
医学薬学府〔修士〕													
医科学専攻	2	27	-	54	修士 (医科学)	1.03	1.03	-	平成17	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号			
総合薬品科学専攻	2	50	-	100	修士 (薬科学)	0.90	0.90	-	平成13	同上			
医学薬学府〔4年博士〕													
先端医学薬学専攻	4	108	-	432	博士 (医学) (薬学)	1.06	1.00	-	平成24	同上			
先進予防医学共同専攻	4	10	-	40	博士 (医学)	0.90	0.50	-	平成28	同上			
医学薬学府〔後期3年博士〕													
先端創薬科学専攻	3	15	-	45	博士 (薬科学)	0.90	0.66	-	平成24	同上			
看護学研究科〔修士〕													
看護システム管理学専攻	3	-	-	-	修士 (看護学)	-	-	-	平成14	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号		令和3年度より学生募集停止	
看護学研究科〔博士前期〕													
看護学専攻	2	40	-	80	修士 (看護学)	0.86	0.87	令和3	昭和54	同上		令和3年度入学定員増 (15)	
看護学研究科〔博士後期〕													
看護学専攻	3	15	-	42	博士 (看護学)	1.06	1.06	令和3	平成5	同上		令和3年度入学定員増 (3)	
看護学研究科〔5年一貫制博士課程〕													
共同災害看護学専攻	5	-	-	-	博士 (看護学)	-	-	-	平成26	同上		令和3年度より学生募集停止	
総合国際学位プログラム	2	【5】	-	【10】	修士 (学術)	0.80	1.00	-	-	千葉県千葉市旭区弥生町1番33号			
大学院全体	-	1,287	-	2,998	-	-	-	-	-	-			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 （専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A C対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	正木 治恵 <令和3年4月> 博士(保健学)
		グローバル演習 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	中村 伸枝 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	増島 麻里子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	岡田 忍 <令和3年4月> 博士(医学)
		先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology Dissertation in Nursing Pathobiology

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	正木 治恵 <令和3年4月> 博士(保健学)
		グローバル演習 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	中村 伸枝 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	増島 麻里子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	岡田 忍 <令和3年4月> 博士(医学)
		先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology Dissertation in Nursing Pathobiology

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	正木 治恵 <令和3年4月> 博士(保健学)
		グローバル演習 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	中村 伸枝 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	増島 麻里子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	岡田 忍 <令和3年4月> 博士(医学)
		先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology Dissertation in Nursing Pathobiology

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞嶋 朋子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	諏訪 さゆり <令和3年4月> 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Visiting Nursing Doctoral Practicum in Visiting Nursing Dissertation in Visiting Nursing
専	教授	石丸 美奈 <令和3年4月> 博士(看護学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Community Health Nursing Doctoral Practicum in Community Health Nursing Dissertation in Community Health Nursing
専	教授	小宮山 政敏 <令和3年4月> 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	森 恵美 <令和3年4月> 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	北池 正 <令和3年4月> 博士(保健学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞嶋 朋子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	諏訪 さゆり <令和3年4月> 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Visiting Nursing Doctoral Practicum in Visiting Nursing Dissertation in Visiting Nursing
専	教授	石丸 美奈 <令和3年4月> 博士(看護学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Community Health Nursing Doctoral Practicum in Community Health Nursing Dissertation in Community Health Nursing
専	教授	小宮山 政敏 <令和3年4月> 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	森 恵美 <令和3年4月> 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	北池 正 <令和3年4月> 博士(保健学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞嶋 朋子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Adult Nursing Doctoral Seminar in Gerontological Nursing Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing Dissertation in Adult & Gerontological Nursing
専	教授	諏訪 さゆり <令和3年4月> 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) 生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Visiting Nursing Doctoral Practicum in Visiting Nursing Dissertation in Visiting Nursing
専	教授	石丸 美奈 <令和3年4月> 博士(看護学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Community Health Nursing Doctoral Practicum in Community Health Nursing Dissertation in Community Health Nursing
専	教授	小宮山 政敏 <令和3年4月> 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar
専	教授	森 恵美 <令和3年4月> 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	北池 正 <令和3年4月> 博士(保健学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究 Interdisciplinary Research Seminar

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 利江 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry
専	教授	中山 登志子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	宮崎 美砂子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		Systematic Review 生活創成看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	教授	手島 恵 <令和3年4月> 看護学修士
		看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 郁子 <令和3年4月> 博士(保健学)
		Academic Writing Systematic Review 生活創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	教授	野地 有子 <令和3年4月> 保健学博士
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) グローバル演習 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Administration Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 利江 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry
専	教授	中山 登志子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	宮崎 美砂子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		Systematic Review 生活創成看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	教授	手島 恵 <令和3年4月> 看護学修士
		看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 郁子 <令和3年4月> 博士(保健学)
		Academic Writing Systematic Review 生活創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	教授	野地 有子 <令和3年4月> 保健学博士
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) グローバル演習 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Administration Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中山 登志子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	宮崎 美砂子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		Systematic Review 生活創成看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	教授	手島 恵 <令和3年4月> 看護学修士
		看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 郁子 <令和3年4月> 博士(保健学)
		Academic Writing Systematic Review 生活創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Administration Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration
専	教授	野地 有子 <令和3年4月> 保健学博士
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展) グローバル演習 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Doctoral Seminar in Nursing Administration Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	和住 淑子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	石橋 みゆき ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	准教授	田中 裕二 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		特別演習 特別研究
専	准教授	辻村 真由子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		Systematic Review 特別演習 特別研究
専	准教授	池崎 澄江 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		特別演習 特別研究
専	准教授	岩田 裕子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(米国)
		グローバル演習 特別演習 特別研究
専	准教授	斉藤 しのぶ ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 奈保 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		Systematic Review 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	和住 淑子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	石橋 みゆき ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	准教授	田中 裕二 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		特別演習 特別研究
専	教授	池崎 澄江 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	斉藤 しのぶ ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 奈保 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		Systematic Review 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	和住 淑子 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 看護イノベーション特論 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究 Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry
専	准教授	石橋 みゆき ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究
専	教授	池崎 澄江 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		生活創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	斉藤 しのぶ ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		看護革新力の展開 文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 奈保 ＜令和3年4月＞ 博士(看護学)
		Systematic Review 先端実践看護学特論 災害マネジメント論 災害看護活動論(復旧・復興) 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田(垣本)久美子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	銭淑君 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	井出(竹内)成美 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	准教授	杉田由加里 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	講師	小川俊子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	講師	野崎章子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		グローバル演習
専	講師	飯野理恵 <令和3年4月> 博士(看護学)
		Systematic Review 文化創成看護学特論
専	講師	臼井いづみ <令和3年4月> 修士(看護学)
		災害時専門職連携演習
専	助教	楠潤子 <令和3年4月> 修士(看護学)
		先端実践看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田(垣本)久美子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	銭淑君 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	井出(竹内)成美 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	准教授	杉田由加里 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	講師	小川俊子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	講師	野崎章子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		グローバル演習
専	講師	飯野理恵 <令和3年4月> 博士(看護学)
		Systematic Review 文化創成看護学特論
専	講師	臼井いづみ <令和3年4月> 修士(看護学)
		災害時専門職連携演習
専	助教	楠潤子 <令和3年4月> 修士(看護学)
		先端実践看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田(垣本)久美子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護イノベーション特論 先端実践看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	銭淑君 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	准教授	井出(竹内)成美 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 災害時専門職連携演習 特別演習 特別研究
専	准教授	杉田由加里 <令和3年4月> 博士(看護学)
		文化創成看護学特論 特別演習 特別研究
専	講師	小川俊子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	講師	野崎章子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		グローバル演習
専	講師	飯野理恵 <令和3年4月> 博士(看護学)
		Systematic Review 文化創成看護学特論
専	講師	臼井いづみ <令和3年4月> 修士(看護学)
		災害時専門職連携演習
専	助教	楠潤子 <令和3年4月> 修士(看護学)
		先端実践看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐野 元洋 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	仲井 あや <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	山崎 由利亜 <令和3年4月> 修士(看護学)
		看護イノベーション特論 先端実践看護学特論
専	助教	佐々木 ちひろ <令和3年4月> 修士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	中水流 彩 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	雨宮(山下) 歩 <令和3年4月> 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展)
専	助教	鈴木 悟子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護革新力の展開
専	助教	湯本 晶代 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護イノベーション特論
専	助教	飛世 真理子 <令和3年4月> 修士(看護学)
		文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐野 元洋 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	仲井 あや <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	山崎 由利亜 <令和3年4月> 修士(看護学)
		看護イノベーション特論 先端実践看護学特論
専	助教	佐々木 ちひろ <令和3年4月> 修士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	中水流 彩 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	雨宮(山下) 歩 <令和3年4月> 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展)
専	助教	鈴木 悟子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護革新力の展開
専	助教	湯本 晶代 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護イノベーション特論
専	助教	飛世 真理子 <令和3年4月> 修士(看護学)
		文化創成看護学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐野 元洋 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	仲井 あや <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	山崎 由利亜 <令和3年4月> 修士(看護学)
		看護イノベーション特論 先端実践看護学特論
専	助教	佐々木 ちひろ <令和3年4月> 修士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	中水流 彩 <令和3年4月> 博士(看護学)
		先端実践看護学特論
専	助教	雨宮(山下) 歩 <令和3年4月> 博士(保健学)
		学際研究Ⅰ(導入) 学際研究Ⅱ(発展)
専	助教	鈴木 悟子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護革新力の展開
専	助教	湯本 晶代 <令和3年4月> 博士(看護学)
		看護イノベーション特論
専	助教	飛世 真理子 <令和3年4月> 修士(看護学)
		文化創成看護学特論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和2年8月 田上美千佳教授就任。・令和2年10月 岩瀬靖子講師就任。・令和3年2月 辻村真由子准教授退職。・令和3年3月 池崎澄江准教授 教授昇任。・令和3年3月 岩田裕子准教授退職・令和3年3月 山崎由利亚助教退職。・令和3年4月 前原邦江准教授就任。・令和3年4月 佐伯昌俊助教就任。・令和3年4月 鈴木美央助教就任。・令和3年4月 宇田川友佳助教就任。
--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和4年 3月 山本利江教授 定年退職。担当授業科目「Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry」は後任の和住淑子教授が担当。・令和4年 3月 野地有子教授 定年退職。担当授業科目「Doctoral Seminar in Nursing Administration」「Doctoral Practicum in Nursing Administration」「Dissertation in Nursing Administration」は後任の酒井郁子教授が担当。・令和4年 3月 田中裕二准教授 定年退職。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
17	11	4	11	43	0	17	8	5	13	43	0
(19)	(9)	(5)	(13)	(46)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
16	26	1				20	23	0			
(19)	(27)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
17	8	5	13	43	0	17	8	5	13	43	0
[-]	[Δ3]	[1]	[2]	[-]	[-]	[-]	[Δ3]	[1]	[2]	[-]	[-]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
20	23	0				20	23	0			
[4]	[Δ3]	[Δ1]				[4]	[Δ3]	[Δ1]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{43}{43} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
								選択	Systematic Review	①			
1	准教授	辻村 真由子	R3.2	必修	特別演習	①	他大学就職のため（3）						
				必修	特別研究	①							
				必修	特別研究	①							
2	准教授	岩田 裕子	R3.3	選択	グローバル演習	①	療養のため（3）						
				必修	特別演習	①							
				必修	特別研究	①							
3	助教	山崎 由里亜	R3.3	選択	看護イノベーション特論	①	大学院博士後期課程進学のため（3）						
				必修	先端実践看護学特論	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
3	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
								①	②	③			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
3	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{43} = 6.97 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	山本 利江	必修	文化創成看護学特論	①	R4.3.31付け65歳で定年退職(4)							
			必修	特別演習	①								
			必修	特別研究	①								
			選択	Philosophical and Methodological Bases of	①								
2	教授	野地 有子	必修	学際研究Ⅰ(導入)	①	R4.3.31付け65歳で定年退職(4)							
			選択	学際研究Ⅱ(発展)	①								
			選択	グローバル演習	①								
			必修	文化創成看護学特論	①								
			必修	特別演習	①								
			必修	特別研究	①								
			選択	Doctoral Seminar in Nursing Administration	①								
			選択	Doctoral Practicum in Nursing Administration Dissertation in Nursing Administration	①								
3	准教授	田中 裕二	必修	特別演習	①	R4.3.31付け65歳で定年退職(4)							
			必修	特別研究	①								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
3	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	15	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年3月末の時点で、3名の専任教員(教授2名、准教授1名)が定年退職となった。それらの教員が担当していた共通基盤科目や専門科目、特別演習、特別研究については、教授をはじめとする複数の教員グループで担当することになっている。また、国際プログラムの4科目については、当該科目を他の専任教授が引き継ぐこととなった。そのため、学生の履修に関して影響はない。学生への周知方法としては、各科目の初回オリエンテーションやシラバスにおいて、各科目の全担当教員名を記載し、周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻（博士前期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況：委員会の設置なし。
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
- c 委員会の審議事項等

② 実施状況

1) 大学院FD

- a 実施内容：「よりよい大学院教育に向けて」
 - ・大学院教育におけるハラスメントについて、基本的事項から具体的対策について、ロールプレイを交えながら双方向的な研修を行った。

実施日時：令和3年9月28日

- b 実施方法：オンライン
- c 開催状況（教員の参加状況含む）：参加者46名
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：実施後の確認等はない。

2) 大学院FD

- a 実施内容：「様々な人々の理解・支援に向けた看護学教育の再考」
 - ・社会や人々の変化への視野を広げ、改めて無自覚にある自身の世界観が看護学教育に及ぼす影響を考えるための研修を行った。
- b 実施方法：Zoomによるオンライン研修およびWEB配信
- c 開催状況（教員の参加状況含む）：参加者39名
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・研修では看護系大学教員が取り組む課題が共有され、人間中心の新たな健康支援方略の解明や、それに基づく看護学教育に向けて、個々が授業改善に生かすこととする。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・学生用学習管理システム（moodle）にて、授業開講終了後に実施。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・大学院教務委員会にて集計結果を資料にして教員に報告。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会

(5月1日

あるこ

該当なし

委員構成で

ださい。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>・設置の主旨・目的に沿った教育・研究体制の整備によって目標達成に向けて順調に進めることが出来ていると考える。引続き、研究科の充実・発展によって、育成する人材像に合致する者を多数輩出することを目指し取り組んでいく。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・令和4年6月末 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審。 次回は令和10年度を受審を予定している。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>≪ a で「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [<input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ()]</p> <p>≪ a で公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 []</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。